



齲蝕を学ぶためのスタート地点となる 実践的テキスト

デンタルカリエスエッセンシャル

原著第4版

Edwina Kidd・Ole Fejerskov 著／大庭俊太郎・伊藤直人 訳

B5判／192頁／定価 8,360円（本体 7,600円＋税 10%）／医歯薬出版（2023年2月）

2人のヨーロッパのカリオロジー（齲蝕学）の専門医によって執筆された本書は、実践的な解説書として、世界中で翻訳されています。カリオロジーについてのエビデンスを述べるだけでなく、臨床にも役立つ書籍です。シンプルで簡潔な文章で書かれ、カリオロジーを学びはじめる人々にも理解しやすくなっています。また、各患者に合わせた口腔保健をもっとも効果的に改善する方法を紹介しており、読者は楽しみながら新たな知識を得ることができます。

本書は8つの章で構成されており、各章でカリエスコントロールの本質的な内容が解説されています。Chapter1「イントロダクション」では、「なぜ歯を失うのか？」という問いへの答えが簡潔に説明され、Chapter2「齲蝕病変はどのようにして発生するのか」ではバイオフィルムについての知識を得ながら、齲蝕の発生や進行、それらにかかわる糖の役割に焦点が当てられています。Chapter3「診療での齲蝕の検出・診断・記録」では、活動性齲蝕の診断の重要性について、Chapter4「齲蝕病変の発生と進行のコントロール」では、口腔衛生、フッ化物、食事など、日常臨床で齲蝕の進行をコントロールするための鍵となる要素について説明されています。本章を読むことで、すぐに実践できるカリエスコントロールの方法が見つかることでしょう。Chapter5「どんなときに齲窩を

修復するべきか」では、齲蝕の進行を抑制するための充填のタイミングについて触れられ、特に「充填は治療ではなく、患者のセルフケアを容易にするための一つの手段である」という考えに深く共感します。Chapter6「患者とコミュニケーションを図り行動に影響を与える」では、カリエスコントロールには行動変容が重要であることから、患者との効果的なコミュニケーション技術が紹介されています。Chapter7「活動性齲蝕の患者のカリエスコントロール」では、患者個人に応じた柔軟な対応や、活動性齲蝕を抱える患者に焦点を当て、口腔衛生や食事の内容の分析、アドバイス方法、フッ化物の効果的な使用方法について解説しています。この章は、日常臨床で頻繁に遭遇する齲蝕患者への対応に非常に役立ちます。Chapter8「集団におけるカリエスコントロール」では、地域社会に目を向け、もっとも簡潔で経済的かつ効果的なカリエスコントロールの方法が解説されています。エピローグからも、著者のカリオロジーへの情熱が力強く伝わりますので、ぜひ最後までお読みいただきたいと思います。

本書はカリオロジーに関しての知識を大きく更新し、読者の内側に変革をもたらす一冊です。歯科衛生士にとっても革新的な内容であり、実践的な情報によって読者を引き込むことで、知識・スキルの向上に必ず貢献するでしょう。